

未来のまちづくり・ひとづくり なかはらミュージカル

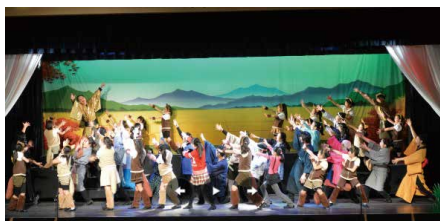


▲第5回公演 (2017.3.11～12)

3月11日と12日、中原市民館で、なかはらミュージカル(以降「なかミュー」と略します)による第5回「多摩川DEN～水が結んだ絆～」が公演されました。

なかミューは、もともとは中原市民館の移転開館記念事業のイベント「NAKAHARA ACT STREET」(2009年4月開催)から生まれ、その後、中原区制40周年記念に合わせて中原区初の市民ミュージカルとして立ち上げられました。

2013(H25)年2月16日、第1回のミュージカル「水の郷のものがたり」を上演し、舞台は大成功でした。



▲第1回公演 (2013.2.16)

なかミューは、中原区地域課題対応事業の地域コミュニティ活性化推進事業として中原区から認定され、『①舞台芸術活動を通して、地域文化の振興発展と中原区の魅力を発信する ②多くの区民の参加により、世代を超えた豊かな「交流の場」をつくる ③人やまちへの理解を深める ④次代を担う子どもたちにとって、この活動が実りある体験となり未来の「まちづくり」、「ひとづくり」に貢献できるものとなるように努力する』こと等をめざして活動しています。



▲配役発表

なかミューの活動は、6月に参加事前説明会・キャスト公募、7月に配役オーディション、8月上旬に配役発表・保護者説明会が行われ、長期の練習期間を経て、3月の公演本番まで年間スケジュールが組まれています。キャストには、小学1年生から60代の方まで参加しています。

2月5日(日)、練習の様子を見学しました。はじめに身体をほぐし、発声練習をしていました。この日は、

バンド、ピアノ、エレクトーン担当と綿密な音合わせをしていました。オリジナルの脚本(台本)演出・演技、楽曲・音楽・歌唱、振付・ダンス等を担当するスタッフの熱心な指導を



▲バンドとの音合わせ

はじめ、衣裳・照明・大道具・小道具・舞台装置等、どれもが手づくりで出来ていることに驚きました。舞台装置等は、スタッフの他に保護者の協力も得ながら製作していました。



▲舞台装置等の製作

練習前に大人キャストに聞くと、「はじめ子どもが入ったが、自分も興味

が出て参加しました。子どもが輝く姿が嬉しいです(鈴木恵子さん)」「練習時間をつくるためのやりくりがとてもたいへんです(今井秀美さん)」「ストレス解消・気分転換ができています(松原晴美さん)」「上達していることが分かったり、学校等で誉められたりすることが励みになっています(中学生の鈴木かれんさん)」等話をしてくれました。また、なかミューの



▲練習の様子

Facebookには、「あと少しで、みんなと練習できるのが終わっちゃうから、全部の練習を悔いなくやりたい」「みんなでもっと団結できるようなチームにしていきたい」等のメッセージが多数ありました。共に励まし合って練習した仲間たちとの友情と大きな絆が育まれていました。保護者は、キャストの衣裳づくりを楽しみながら作っている様子もうかがえました。

実行委員長として5年目の横井史恵さんからは、「稽古動画」をネットで利用していること、自主的に協力して下さる保護者が増えていること、地元を大切に思うスタッフのみなさんの話等を聞くことができました。「キャストとスタッフが協働で力を合わせて一つのミュージカルを創り上げていく過程を通して、猛練習の思い出や公演本番での達成感等が、必ずや次世代へいい思い出としてつなげていくステップになることを信じ、裏方として運営に携わっている」という言葉に、責任感とやりがいを感じることができました。

■問合せ なかはらミュージカル実行委員会

TEL FAX 044-733-5547